

# 2010年3月期 NSKグループ中間報告書

(平成21年4月1日から平成21年9月30日まで)



# 次なる成長に向けた事業基盤の構築へ



代表執行役社長  
大塚 紀男

## Q 当中間期の概況と販売状況についてお聞かせください。

A 当中間期のグローバル経済は、各国政府による政策効果もあり、前期後半からの急激な景気悪化に対し、底打ちの兆しがみられました。

当社グループの事業領域におきましては、自動車向けは、自動車メーカーの在庫調整の終了や各国の販売優遇措置などの景気刺激策により、回復基調となりました。産業機械向けは、企業の収益力低下や生産設備の余剰感による投資抑制が続いており、回復は弱いものとなっております。

こうした経営環境において、当社グループは、収益体質改善委員会を設置し、外部調達費や販売管理費の削減、生産体制の再編について取り組むとともに、産業機械軸受や精密機器関連製品の拡販に努めてまいりました。

この結果、当中間期の売上高は2,578億71百万円と前年同期に比べ32.7%の減収となりました。

## Q 収益の状況は如何でしたか。

A 利益面につきましては、物量減や円高による輸出採算の悪化に対し、人件費や経費の削減、外部調達コストの削減に努めましたものの、営業損失39億11百万円（前年同期は286億13百万円の営業利益）、経常損失87億16百万円（前年同期は289億16百万円の経常利益）となりました。特別損失

に事業構造改善費用11億20百万円を計上し、税金費用、少数株主利益を控除した結果、中間純損失58億94百万円（前年同期は176億66百万円の中間純利益）となりました。

所在地別セグメントの業績は次のとおりです。

### ① 日本

産業機械軸受の売上高は、一般産業向けや電機向け、アフターマーケット向けが減少しました。自動車関連製品は、自動車のエコカー減税、買換え補助金などの販売優遇措置により、回復基調であるものの、自動車販売台数の減少の影響を受けて減少となりました。精密機器関連製品は、工作機械向けや半導体製造装置向けが減少しました。

この結果、日本の売上高は1,875億16百万円（前年同期比△33.4%）となりました。利益面では、人件費や経費の削減、外部調達コストの削減による効果はあるものの、大幅な物量の減少、円高による輸出採算の悪化などにより営業損失51億21百万円（前年同期は164億7百万円の営業利益）となりました。

### ② 米州

産業機械軸受の売上高は、一般産業向けや電機向け、アフターマーケット向けが減少しました。自動車関連製品は、販売優遇措置により、回復基調であるものの、自動車販売台数の減少の影響を受けて減少しました。精密機器関連製品は、工作機械向けや半導体製造装置向けが減少しました。

この結果、米州の売上高は306億77百万円（前年同期比△

## 連結中間決算ハイライト

(単位:百万円)

	2010年3月期 中間	2009年3月期 中間	2009年 3月期
売上高	257,871	383,325	647,593
営業利益または営業損失	△3,911	28,613	22,106
経常利益または経常損失	△8,716	28,916	16,964
中間(当期)純利益または中間純損失	△5,894	17,666	4,561
総資産	759,591	828,477	744,229
純資産	250,044	298,144	248,787
自己資本比率(%)	30.8	34.0	31.4
1株当たり			(単位:円)
純資産	433.15	521.28	431.74
配当額	4.00	10.00	14.00
中間(当期)純利益または中間純損失	△10.90	32.68	8.44

# TOP MESSAGE

37.5%)となりました。営業利益は、人件費や経費の削減による効果はあるものの、大幅な物量の減少により、1億14百万円（前年同期比△94.7%）となりました。

## ③ 欧州

産業機械軸受の売上高は、景気悪化の影響を受け一般産業向けや電機向け、アフターマーケット向けが減少しました。自動車関連製品は、販売優遇措置により電動パワーステアリングの増加はあるものの、自動車販売台数の減少の影響を受けて減少となりました。精密機器関連製品は需要の低迷の影響を受け工作機械向けが減少しました。

この結果、欧州の売上高は464億28百万円（前年同期比△35.3%）となりました。営業利益は、人件費や経費の削減、外部調達コストの削減による効果はあるものの、大幅な物量の減少などにより22億13百万円（前年同期比△63.9%）となりました。

## ④ アジア

産業機械軸受の売上高は、中国での一般産業向けの増加はあるものの、その他は需要低迷の影響を受けて減少となりました。自動車関連製品は、中国における販売優遇措置の効果により回復基調となりましたが、その他の地域の自動車販売台数の低迷の影響を受けて減少となりました。精密機器関連製品は、主に台湾の需要低迷の影響を受けて減少しました。

この結果、アジアの売上高は428億91百万円（前年同期比

△29.7%）となりました。営業利益は、人件費や経費の削減による効果はあるものの、物量の減少などにより16億66百万円（前年同期比△75.3%）となりました。

## 利益配分に関する基本方針、当期の配当の考え方をお聞かせください。

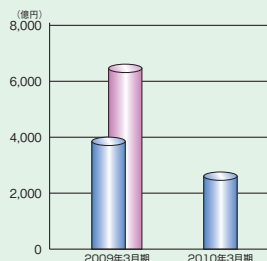
当社は、株主の皆様に対する利益還元を重要な経営方針の一つとしております。配当につきましては、安定的な配当を継続実施していくことを基本としつつ、連結ベースでの配当性向や業績水準等を勘案して決定したいと考えております。この基本方針のもと、当期の中間配当金につきましては、1株当たり4円で実施いたします。

## 最後に株主の皆様へのメッセージをお願いします。

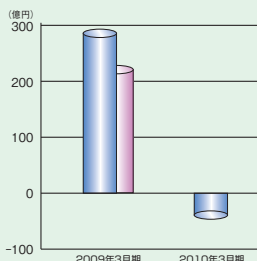
当社は、本年10月に2012年度迄の中期計画を策定いたしました。かかる中期においても、トータル・クオリティNo.1を追求し、従来より掲げておりました「成長戦略」と「体質強化」の推進という基本方針に加えて、「事業軸の強化」により販売・生産・技術が一体となった顧客・事業軸中心の経営を加速させることで、事業環境の大きな変化の中での次なる成長に向けた事業基盤の構築を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜わりますようお願い申し上げます。

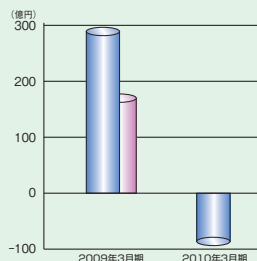
## ●売上高



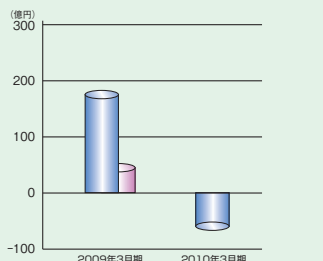
## ●営業利益



## ●経常利益



## ●中間（当期）純利益



# 製品別売上高の概要（連結）

## 精密機器関連製品

NSKの精密機器関連製品は、ボールねじ、リニアガイドなどの直動製品、XYテーブル、メガトルクモータなどのメカトロ製品と液晶カラーフィルター用露光装置のシステム製品で構成されております。

NSKは3つの製品で高精度・高速位置決めを必要とされる世界の様々な先端技術産業のお客様のニーズにお応えし、多種多様な商品を提供しております。

## 売上高の概要

日本国内向けは液晶製造装置向けが増加しましたが、設備投資需要の大幅な減少により工作機械向け、半導体製造装置向けなど各産業の需要が低迷しました。

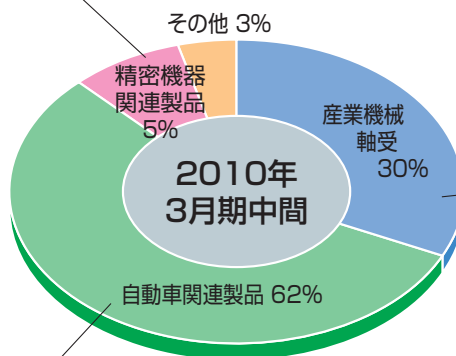
一方、海外におきましても、太陽光発電、LED製造装置向けなど新規需要への拡販がありました。工作機械向け需要が各地域で大幅に減少しました。以上の結果、精密機器関連製品全体では前年同期比56.1%の減収となりました。



超高負荷容量 一軸アクチュエータ「タフキャリア™」

転動体にローラを採用し耐荷重性能の大幅な向上を実現

小型・高信頼性駆動輪用ABSセンサ内蔵ハブユニット軸受  
成長著しいBRICs市場の過酷な環境下での高信頼性を実現



## 産業機械軸受

NSKの産業機械軸受は、グローバルな総合軸受メーカーとして販売・生産・研究開発の拠点を日本・米州・欧州・アジアの4極に展開し、小径・標準玉軸受から超大径軸受に到るまで、多種多様な軸受を世界のあらゆる産業・地域に供給しています。中でも、産業機械用大径ころ軸受・精密軸受や小径～標準玉軸受ではフルレンジの品揃えと技術力による高い市場シェアを持ち、世界をリードしております。

## 売上高の概要

日本国内向けは、鉄鋼プラント、鉄道車両向け需要が増えましたが、世界規模での景気悪化の影響を受け工作機械向け、建設機械向けをはじめとする各産業向けに需要が大幅に減少しました。

一方、海外におきましても、高成長を続ける中国／インドでの拡販がありました。米州・欧州・アジア各地域で需要が大幅に減少しました。以上の結果、産業機械軸受全体では前年同期比37.4%の減収となりました。

## 自動車関連製品

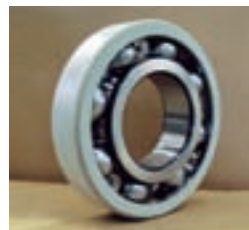
NSKの自動車関連製品事業は、ハブユニット軸受やニードル軸受等に代表される自動車軸受事業、電動パワーステアリングをはじめとするステアリング事業、ワンウェイクラッチなどのオートマチック・トランスミッション用部品事業で構成されております。NSKは、環境への配慮、さらに安全性、快適性を追求した製品開発を行い、グローバルな生産拠点を活用しながら、日本のみならず米州・欧州・アジアの自動車メーカーにも幅広く高性能・高品質の製品を供給しております。

## 売上高の概要

日本国内向けは、自動車メーカーの在庫調整が終了し、生産の回復の兆しがあるものの、自動車販売台数の低迷の影響を受けて減少となりました。

また海外向けにおきましても自動車メーカーの在庫調整の進展や中国など各国の販売優遇策等により需要回復の兆しがありましたが、自動車メーカーの生産減少の影響が大きく、減少となりました。

以上の結果、自動車関連製品では前年同期比25.4%の減収となりました。



風力発電機用軸受

外輪にセラミック材を溶射し高い絶縁抵抗、電食問題解決を実現

# FINANCIAL REPORT

## 中間連結決算の概要

### 中間連結貸借対照表

(単位 百万円)

科目	2010年3月期 中間 (2009年9月30日)	2009年3月期 中間 (2008年9月30日)	2009年3月期 (2009年3月31日)	科目	2010年3月期 中間 (2009年9月30日)	2009年3月期 中間 (2008年9月30日)	2009年3月期 (2009年3月31日)
(資産の部)				(負債の部)			
流動資産	377,457	405,159	369,590	流動負債	236,218	284,998	210,322
現金及び預金	80,847	60,081	77,712	支払手形及び買掛金	89,143	132,304	74,006
受取手形及び売掛金	115,380	149,168	97,890	短期借入金	87,897	87,704	90,175
有価証券	39,041	29,298	46,300	1年内償還予定の社債	17,000	—	7,000
製品	61,342	65,033	60,965	未払法人税等	1,973	6,974	1,915
仕掛品	31,737	42,786	34,926	その他	40,204	58,015	37,225
原材料及び貯蔵品	10,416	11,463	10,777	固定負債	273,327	245,334	285,119
その他	39,819	48,508	42,561	社債	110,300	127,000	120,000
貸倒引当金	△1,128	△1,179	△1,543	長期借入金	107,481	47,027	105,990
固定資産	382,134	423,318	374,638	退職給付引当金	24,113	28,603	25,170
有形固定資産	244,643	272,708	249,721	役員退職慰労引当金	1,333	1,302	1,439
建物及び構築物(純額)	69,846	77,922	71,423	環境対策引当金	168	178	174
機械装置及び運搬具(純額)	119,228	136,849	122,494	その他	29,930	41,221	32,344
その他(純額)	55,568	57,936	55,803	負債合計	509,546	530,333	495,442
無形固定資産	10,638	10,584	10,483	(純資産の部)			
投資その他の資産	126,852	140,025	114,433	株主資本	267,752	291,075	275,807
投資有価証券	70,064	84,986	58,842	資本金	67,176	67,176	67,176
前払年金費用	45,215	44,519	45,191	資本剰余金	78,325	78,324	78,324
その他	12,106	11,235	10,949	利益剰余金	126,406	149,724	134,455
貸倒引当金	△534	△715	△549	自己株式	△4,156	△4,151	△4,149
資産合計	759,591	828,477	744,229	評価・換算差額等	△33,597	△9,269	△42,412
				その他有価証券評価差額金	10,558	16,011	5,528
				為替換算調整勘定	△44,156	△25,281	△47,940
				新株予約権	352	234	289
				少数株主持分	15,537	16,104	15,102
				純資産合計	250,044	298,144	248,787
				負債純資産合計	759,591	828,477	744,229

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

# FINANCIAL REPORT

## 中間連結損益計算書

(単位 百万円)

科 目	2010年3月期 中間 (自 2009年4月1日 至 2009年9月30日)	2009年3月期 中間 (自 2008年4月1日 至 2008年9月30日)	2009年3月期 (自 2008年4月1日 至 2009年3月31日)
売上高	257,871	383,325	647,593
売上原価	216,258	299,000	522,010
売上総利益	41,612	84,325	125,583
販売費及び一般管理費	45,524	55,712	103,476
営業利益又は営業損失(△)	△3,911	28,613	22,106
営業外収益	3,853	6,011	8,266
受取利息	410	1,024	1,907
受取配当金	652	785	1,302
持分法による投資利益	1,012	1,953	2,200
その他	1,777	2,247	2,856
営業外費用	8,658	5,707	13,409
支払利息	2,917	3,047	6,117
製品補償費	3,931	1,290	2,126
その他	1,809	1,368	5,165
経常利益又は経常損失(△)	△8,716	28,916	16,964
特別利益	—	489	528
固定資産売却益	—	489	528
特別損失	1,120	1,739	7,161
事業構造改善費用	1,120	—	3,310
投資有価証券評価損	—	1,739	3,851
税金等調整前中間(当期)純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	△9,836	27,666	10,330
法人税等	△4,107	8,883	4,887
少数株主利益	165	1,117	881
中間(当期)純利益又は中間純損失(△)	△5,894	17,666	4,561

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位 百万円)

科 目	2010年3月期 中間 <small>(自 2009年4月 1日 至 2009年9月30日)</small>	2009年3月期 中間 <small>(自 2008年4月 1日 至 2008年9月30日)</small>	2009年3月期 <small>(自 2008年4月 1日 至 2009年3月31日)</small>
営業活動によるキャッシュ・フロー	15,574	14,391	11,785
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,672	△26,943	△46,422
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,860	△10,792	50,529
現金及び現金同等物に係る換算差額	813	△865	△4,175
現金及び現金同等物の増減額(減少：△)	△5,144	△24,209	11,718
現金及び現金同等物の期首残高	124,944	113,226	113,226
連結子会社の決算期変更による増加高	477	—	—
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	120,276	89,017	124,944

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## さらなる成長を目指して、中国事業の体制を強化しました

### ■新しい技術開発センターが完成しました

中国の新たな技術開発拠点、「恩斯克（中国）研究開発有限公司」（江蘇省昆山市、以下中国テクノロジーセンター）の新社屋が完成し、2009年10月12日に開所式を行いました。

多くの来賓を迎えて開催された開所式には、社長の大塚をはじめ多くの関係者が参列し、中国の新たな成長に向けた門出を祝いました。

高い経済成長が続く中国では、急増する電力需要に対応した風力発電機や新幹線や地下鉄の敷設に伴う鉄道車両など、インフラ関連の重厚長大産業が活況を呈しています。これにより、高機能なNSKの軸受への需要も非常に高まっています。

中国では、2003年から産業機械軸受（電機・情報産業向け玉軸受）を中心とした評価・試験等の技術サービスを主に行っていました。中国テクノロジー

センターのオープンにより、今後は、全ての製品（産業機械軸受、自動車関連製品、精密機器関連製品）に関する基礎研究から技術サポートまでを一貫してカバーできるようになりました。海外では最大規模となる中国テクノロジーセンターでは、今後技術者を大幅に増員し、各産業に精通したエンジニアを揃え、中国の産業の発展に貢献していきます。

### ■中国本社を移転しました

中国テクノロジーセンターのオープンに合わせて、中国事業の統括会社「恩斯克投資有限公司」（以下、NSK中国）も昆山市に移転し、NSKの中国事業のさらなる拡大を支える現地マネジメント体制を強化します。現地での販売、財務、生産などの管理機能を高めて、現地に根付いた効率的な事業運営を進めます。

開所式で社長の大塚は、「中国事業は近年、事業規模が著しく拡大し、NSKグループ全体の中でますます存在感を増している。中国においてNSKの全製品を扱える技術体制を構築したことで、中国現地で完結した技術サービスの提供を可能とした。また、今回の本社移転により中国でのマネジメント機能を高め、生・販・技の連携を深め、一貫した戦略を展開し、さらなる成長を目指す。中国の諺に「千里の途も一歩から」とあるように、我々は高い目標を目指して努力を重ね、一步ずつ着実に前進して行きたい。」と挨拶しました。



開所式の様子



## ■中国テクノロジーセンターの概要■

社 名： 恩斯克（中国）研究開発有限公司  
 NSK (CHINA) RESEARCH AND DEVELOPMENT CO., LTD.  
 法定代表人： 董事長 殿塚崇（日本精工(株) 執行役常務）  
 所在地： 江蘇省昆山市花橋經濟技術開發区NSK路8号  
 （上海市近郊）  
 土地面積： 約30,000m<sup>2</sup>  
 建物面積： 事務棟：約10,000m<sup>2</sup>（7階建）  
 実験場：約6,500m<sup>2</sup>（2階建）  
 資本金： 2,000万ドル  
 投資額： 44億円（2011年まで）  
 従業員数： 約300名（2011年時点計画）  
 活動内容： 基礎研究・応用研究 / 開発・設計 / 調査分析  
 生産技術の研究・開発  
 顧客・ユーザーに対する技術サポート

## ■NSK中国の概要■

社 名： 恩斯克投資有限公司  
 NSK (CHINA) Investment Co., Ltd.  
 法定代表人： 董事長 松田和雄（日本精工(株) 取締役 代表執行役専務）  
 所在地： 江蘇省昆山市花橋經濟技術開發区NSK路8号  
 （上海市近郊）  
 従業員数： 約300名（2011年時点計画）  
 活動内容： 中国関係会社の統括



中国テクノロジーセンター&NSK中国新社屋

## 4年に一度の「第4回世界トライボロジー会議」・「世界の省エネ・環境技術展」に参加しました

2009年9月7日から11日まで京都国際会議場で「第4回世界トライボロジー会議（World Tribology Congress）」が開催されました。また、「世界の省エネ・環境技術展 ～ 次世代を担う子供たちへ～」もあわせて開催されました。

トライボロジーとは、摩擦や磨耗、潤滑に関する科学技術分野で、世界トライボロジー会議は、1997年にロンドンで始まり世界各国のトライボロジーの技術者・研究者が集まり4年に1度開催されています。アジアで初めての開催となる今回は、開会式典に秋篠宮様もご出席されました。

NSKはトライボロジーを活かした最先端の技術開発により、摩擦をコントロールし、エネルギーロスを抑えることで、様々な産業の発展と地球環境の保全に貢献してきました。



「世界の省エネ・環境技術展」では、NSKは省エネや環境に貢献するトライボロジーを子供から大人まで、身近なものとして理解してもらうため、「ベアリング・グロッケン II」や「まさつ体験コーナー」など楽しみながら学べる内容のブースを出展し、開催期間中、京都府内の小中学生をはじめ多くの来場者で賑わいました。

「世界の省エネ・環境技術展」では、NSKは省エネや環境に貢献するトライボロジーを子供から大人まで、身近なものとして理解してもらうため、「ベアリング・グロッケン II」や「まさつ体験コーナー」など楽しみながら学べる内容のブースを出展し、開催期間中、京都府内の小中学生をはじめ多くの来場者で賑わいました。

## 会社概要 (2009年9月30日現在)

会社名：日本精工株式会社 (NSK Ltd.)  
 本社：東京都品川区大崎一丁目6番3号  
 設立：1916年11月8日  
 資本金：671億円  
 従業員数：6,131名 (NSKグループ 24,253名)  
 主な事業内容：産業機械軸受、自動車関連製品、  
 精密機器関連製品等の製造販売



取締役メンバー

## 主な事業所及び工場

東日本自動車第一部	神奈川県厚木市	他
東日本自動車第二部	東京都品川区	他
東日本自動車第三部	栃木県宇都宮市	他
東日本自動車第四部	群馬県高崎市	他
中部日本自動車部	愛知県豊田市	他
中部日本浜松自動車部	静岡県浜松市	他
西日本自動車部	大阪府大阪市	他

東北支社	宮城県仙台市	他
日立支社	茨城県日立市	他
北関東支社	群馬県高崎市	他
東京支社	東京都品川区	他
西関東支社	神奈川県厚木市	他
長野支社	長野県諏訪市	他
静岡支社	静岡県静岡市	他
名古屋支社	愛知県名古屋市	他
北陸支社	石川県金沢市	他
大阪支社	大阪府大阪市	他
兵庫支社	兵庫県姫路市	他
中国支社	広島県広島市	他
九州支社	福岡県福岡市	他

藤沢工場	神奈川県藤沢市
大津工場	滋賀県大津市
石部工場	滋賀県湖南市
埼玉工場	埼玉県羽生市

## 役員 (2009年9月30日現在)

取締役会長	朝香 聖一	執行役員	相島 雅一
取締役 (代表執行役社長)	大塚 紀男	執行役員	市川 達夫
取締役 (代表執行役副社長)	原 道夫	執行役員	河島 邦雄
取締役 (代表執行役専務)	松田 和雄	執行役員	磯貝 喜七
取締役 (執行役専務)	建部 幸夫	執行役員	桑原 克己
取締役 (執行役専務)	小森 勉	執行役員	御木 高直
取締役 (執行役専務)	阿部 信義	執行役員	松原 正英
取締役	田澤 正美	執行役員	石田 孝
社外取締役	佐成 豊彦	執行役員	長島 俊幸
社外取締役	岡部 弘	執行役員	渡利 勝
社外取締役	植野 道雄	執行役員	土井 英樹
社外取締役	指田 禎一	執行役員	鈴木 寛
執行役員 専務	齋藤 量一	執行役員	波田 安継
執行役員 専務	新保 敏雄	執行役員	神尾 泰宏
執行役員 専務	正田 義雄	執行役員	荒牧 宏敏
執行役員 専務	芝本 英之	執行役員	
執行役員 専務	高橋 伸一郎	執行役員	
執行役員 専務	斉藤 佳男	執行役員	
執行役員 専務	満江 直樹	執行役員	
執行役員 専務	武岡 博和	執行役員	
執行役員 専務	高川 恵介	執行役員	
執行役員 専務	殿塚 崇	執行役員	
執行役員 専務	長竹 和夫	執行役員	
執行役員 専務	ルベルト・シュナイター	執行役員	

## 連結子会社 90社

### 主な連結子会社名

- NSK福島(株)
- NSKステアリングシステムズ(株)
- NSKプレジジョン(株)
- NSKニードルベアリング(株)
- NSKマイクロプレジジョン(株)
- 日本精工九州(株)
- (株)天辻鋼球製作所
- NSKアメリカズ社(アメリカ)
- NSKコーポレーション社(アメリカ)
- NSKブラジル社(ブラジル)
- NSKヨーロッパ社(イギリス)
- NSKベアリングヨーロッパ社(イギリス)
- NSKベアリング・ポーランド社(ポーランド)
- 恩斯克投資有限公司(中国)
- NSK韓国社(韓国)
- NSKベアリング・インドネシア社(インドネシア)
- NSKインターナショナル(シンガポール)社(シンガポール)

## 持分法適用会社 16社

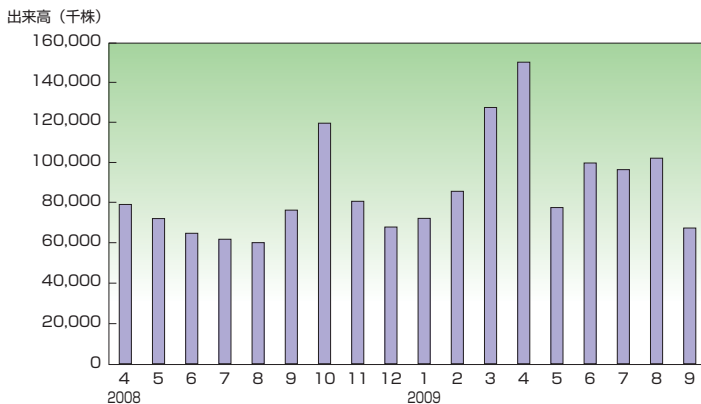
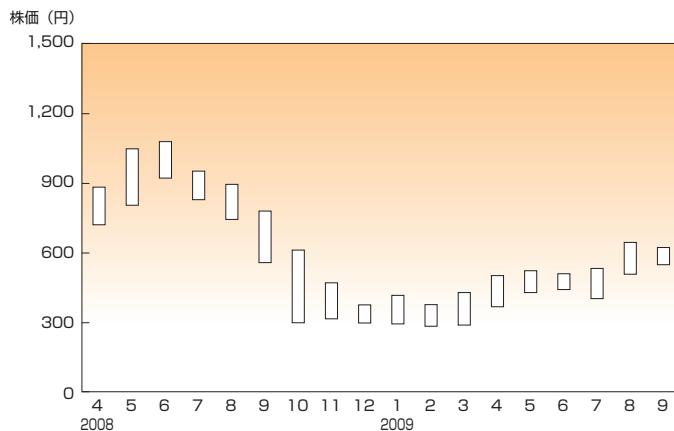
### 主な持分法適用会社名

- NSKワナー(株)
- 井上軸受工業(株)
- NSKベアリング(タイ)社(タイ)

## 株式の状況 (2009年9月30日現在)

資本金： 67,176,546,655円  
 発行済株式総数： 551,268,104株  
 株主数： 27,187名

### 株価及び出来高の推移 (2008年4月～2009年9月)

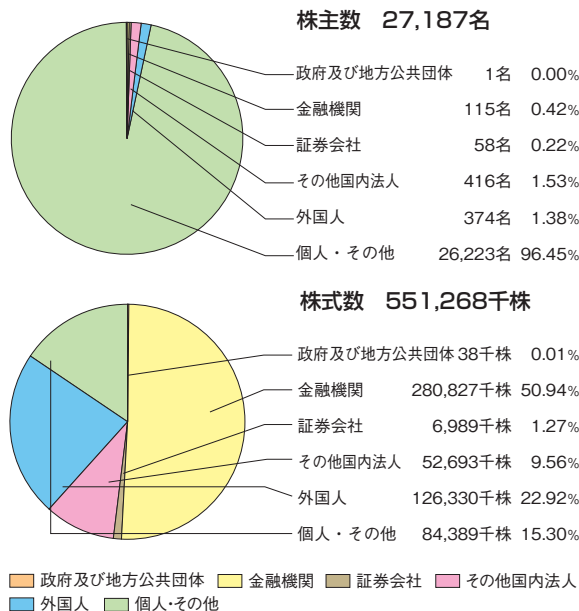


### 大株主

株主名	所有株式数	出資比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	42,495千株	7.71%
富国生命保険相互会社	32,000千株	5.80%
日本生命保険相互会社	30,575千株	5.55%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	27,540千株	5.00%
明治安田生命保険相互会社	26,726千株	4.85%
株式会社みずほコーポレート銀行	21,511千株	3.90%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (住友信託銀行再信託分トヨタ自動車株式会社退職給付信託口)	10,709千株	1.94%
トヨタ自動車株式会社	10,000千株	1.81%
株式会社三菱東京UFJ銀行	8,675千株	1.57%
株式会社損害保険ジャパン	7,248千株	1.31%

(注) 上記以外に、当社は自己株式10,272千株(出資比率1.86%)を保有しております。

### 所有者別分布状況



## 株主メモ

- 事業年度 4月1日～翌年3月31日
- 定時株主総会 6月
- 配当の基準日 期末配当金－3月31日  
中間配当金－9月30日
- 1単元の株式の数 1,000株
- 株主名簿管理人 〒103-8670 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
みずほ信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所 〒103-8670 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先	お取引の証券会社になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
お問合せ先		0120-288-324 (フリーダイヤル)
お取扱店		みずほ信託銀行株式会社 本店及び全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店及び全国各支店
ご注意	未払配当金の支払、支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	単元未満の買取・買増以外の株式売買はできません。 電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券がある場合は至急ご連絡ください。

- 公告掲載 電子公告により行います。 <http://www.jp.nsk.com/>  
但し、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、東京都において発行する日本経済新聞に掲載する方法により行います。

### 単元未満株式を保有されている皆様へ

当社では、ご所有の単元未満株式を1単元（1,000株）とするため、必要な数の株式の買増しをすることができる単元未満株式買増制度、単元未満株式を当社が買い取らせていただく単元未満株式買取制度のいずれかをご利用いただけます。

お問合せについては上記「株主メモ」をご参照ください。

### 特別口座の株式の振替について

特別口座にて管理される株式は、単元未満株式の買取り等を除き、特別口座のままでは売却ができませんので、ご本人の証券会社等の口座に振替されますこととお勧めいたします。

手続きの詳細は、みずほ信託銀行株式会社にお問合せください。

**NSK** 日本精工株式会社

ホームページアドレス：  
<http://www.nsk.com/>



印刷でくすのびの環境対応

この印刷物は環境に配慮した  
用紙・印刷方法を採用しています。